



自分でつくる道

先生 1年生の時から取り組んできたSGH*¹の活動では、どの班も自分たちでテーマを決め、学校内外でたくさんの気づきを得ていましたね。

生徒 住民の方々と直接話をして、限界集落の課題を現実のものとして受け止められました。地域活性化に役立つ、特産品のべに花を使ったものを絶対作るんだと必死に方法を探しました。先生にも相談しながら製作したハーバリウム*²が地域のお祭りで完売した時は、すごくうれしかったです。

先生 知らない土地に飛び込むことは挑戦だったと思うけれど、それが新たな出会いを生み、自分たちの力以上の成果を得たことは大きな自信になったと思います。

生徒 先生のアドバイスは、次の活動指針になりました。私たちの班は「アジア諸国との国際関係」と大きなテーマだったので、調べれば調べるほど自分たちに何ができるのか分からなくなりました。そんな時、先生に「地域にも国際関係はある。例えば、教会にはいろいろな国の人が集まるよね?」と言われ、自分たちの視野の狭さに気づきました。早速、マ・スール*³に教会を紹介してもらい、今は地元での国際交流会に向けて動いています。

生徒 私たちの班も、ネパールの女子教育に役立つ教具を作る際、先生に見学を勧められた附属幼稚園で幼児が遊びながら学ぶ様子を見て、たくさんのヒントを得ました。メンバーからアイデアが次々に出てきて、それを基に教具を3種類つくり、ネパールに送りました。その活用法を聞いて、改善に生かしたいと思っています。

先生 先生のアドバイスは、あくまでも選択肢の1つ。自分たちなりに考えて行動したから、素晴らしい成果につながったんだね。そして、班の中で課題を発見し、根拠や目的をきちんと説明しながら相談するようになったことに、大きな成長を感じています。

生徒 同じテーマの下に集まっても、関心のあることは違うし、得手不得手もある。それを考えて役割を分担し、段取りをつけていかないと、物事は前に進まないのだと実感しました。

生徒 3年生になって受験勉強との両立は大変だけれど、中途半端に終わらせずに活動をやり切りたいです。そして、大学に入ってから活動も続けていきたいです。

先生 みんなが新たな挑戦をし、自分の道を切り拓くことを楽しみにしています!

鉢呂智子先生 教職歴 24年。同校に赴任して 24年目。進路指導部長。

宮城県・私立仙台白百合学園中学・高校 全日制/普通科/女子校/1学年約 120人/2019年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、東北大、宮城教育大、千葉大、東京大、九州大などに 12人が合格。私立大は、仙台白百合女子大、慶應義塾大、上智大などに延べ 141人が合格。

*1 文部科学省のスーパーグローバルハイスクール。 *2 ドライフラワーなどをビンにつめたインテリア雑貨。 *3 修道女(シスター)のこと。